

2022茨城県芸術祭映像コンクール作品発表会

12:30 開 場
 13:00 開 会 主催者あいさつ
 受賞者紹介
 審査講評
 13:30 作品上映（右面参照）
 15:20 終 了

～ 審 査 評 ～

コロナだ！値上げだ！と言っているうちに、今年も県芸術祭の季節がやってきました。映像コンクールには、去年より6点多い24点の力作が寄せられました。

最優秀賞にあたる「特賞」は、美濃島和男さんの『ネモフィラの一生』に決まりました。国営ひたち海浜公園の丘がネモフィラの花でブルーに染まる風景は、海外からの観光客にも人気の絶景スポットです。作品は、1年半かけて撮影した映像をまとめています。映像の構図が素晴らしい上、ナレーションもその映像を邪魔していません。これは制作するうえで大事な要素です。寒さから守る防霜シートの光をとらえたカットは見事ですし、雨で流れてしまった苗の補修シーンもストーリーにメリハリを与えています。スマホ画面のような作り方も遊び心があり、特賞にふさわしい作品でした。

「優賞」は、『ごぞんじですか？石岡の看板建築を!!』です。「看板建築」という聞きなれない建築様式を、看板建築とは何か、取り入れられた理由、石岡市ならではの特徴などを紹介しています。得てして外観だけの映像になってしまうところですが、理容店の店内も撮影しており、ドライブレコーダー？の映像を使うなど工夫が見られました。情報をもう少し整理しても良いかなという感想ですが、看板建築というものをとても理解できた作品でした。

もう一つの「優賞」は、『ピアトリクス・ポターが愛した湖水地地方を巡る旅』。ピアトリクス・ポターは、イギリスの絵本作家で、ウサギをモチーフにした“ピーターラビット”の生みの親です。ダイナミックな山々と湖の映像は、豊かな自然を満喫させられた作品でした。野鳥が飛んでいるカットは、それを象徴していました。こんな美しい風景の中で晩年を過ごしたというポターの人柄が伝わってきます。鉄道反対運動を起したという説明も映像を見ていると納得します。民宿の方の運転するシーンなど地元の人たちとの交流も描かれ、風景だけに終わっていない点も良かったと思います。ただ、ピーターラビットの絵本やポターの写真を撮影して挿入すると、より作品の理解が高まったはずです。

今後も活躍してほしいグループや個人に贈られる「茨城新聞社賞」は、高校生の作った『立体アニメーション装置を作る』です。3Dプリンターや不用品を利用しようという考えは“今”を反映しているようでした。静止画をうまく編集し、楽しく見せてもらった3分間の作品でした。

奨励賞や入選作品も、ユニークな発想で制作されたり、ほのぼのとした作品であったりと楽しませていただいた作品ばかりでした。

新型コロナによって思うように撮影ができず、ストレスがたまってしまいましたが、行動制限も緩和され人の動きも少しずつ活発になってきました。気は抜けませんが、廣瀬さんの『ビデオ人生を歩む』のように「さあ、撮影に行こう！」「これからもビデオ人生を歩んでいく！」と、ポジティブな気持ちで作品作りを楽しんで頂ければと思います。来年も、今年以上の作品をお待ちしています。
 （岡崎 好美）

＜審査員＞ 島田 裕之（茨城大学教授）
 岡崎 好美（元NHK水戸放送局）
 鈴木 崇伸（ケーブルテレビJWAY）

～ 上 映 作 品 ～

各作品の説明は、応募票に記載された作者のコメントを参考に致しました。

入 選		伝統を受け継ぐ子どもたち 渡邊 英昭(取手市) 友人が坂東市に古くから伝わる神田囃子を長年続けて子供たちに指導している。その様子を映像にしてみました。
入 選		婆さんの幸せづくり 加藤 忠道(城里町) 家の婆さんの野菜作りの映像を通して、自分の幸福感を健康・仲間・貢献の要素で捉え、幸せづくりを伝えたい。
茨城新聞社賞		立体アニメーション装置を作る 小野瀬遥人(勝田工業高校) 映像の原点について研究し、立体的に再現する装置を作りました。前半はメイキングで、後半は実写のアニメです。
奨 励 賞		菰 つ くり 松崎 昭徳(坂東市) 上野東照宮牡丹園からの受注で花に被せる菰を作っている夏越さんの仕事ぶりと人となり映像でまとめました。
奨 励 賞		ビデオ人生を歩む 廣瀬 清志(取手市) ビデオ作品創りを老後の楽しみとしている私の、これまでのビデオ人生を振り返り、今後も続ける決意をしました。
招待作品		「ラジオ体操」がやって来た！ 眞弓 喜幸(日立市) ラジオ体操のまち日立市で開かれたNHK夏季巡回ラジオ体操の映像を通して、市と体操の取り組みを紹介します。
休 憩		
奨 励 賞		この店の風景 そっと寄り添うメロディ(日立市) 日立市で働く人達の協力で、コロナでウンザリの中にかすかな希望を見出すイキイキと笑顔で働く姿を収めました。
奨 励 賞		秋 の 月 倉持 敏夫(坂東市) 月は私たちの心の支えとして生活の中に存在しています。中秋の名月を中心に、その変化を追ってみました。
優 賞		ピアトリクス・ポターが愛した湖水地地方をめぐる旅 齋藤佳郎(龍ヶ崎市) 「ピーターラビット」の作者ピアトリクス・ポターが晩年を過ごしたイングランドの湖水地方を旅した時の映像です。
優 賞		ごぞんじですか？石岡の看板建築を!! 西野 忠(水戸市) 石岡市内に今も残る「看板建築」と呼ばれる特有な様式の建物をとりあげ、昭和レトロの景観を紹介します。
特 賞		ネモフィラの一生 美濃島和男(日立市) 国立ひたち海浜公園のネモフィラの一生を、種まきから始め、どの様に育てられ春の風景をもたらすのかを記録した。